

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	海の日を祝う会補助金	開始 年 度	平成8年度
----------------	------------	-----------	-------

団 体 名	海の日を祝う会
-------	---------

助成の根拠既定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則
-------------------------	-------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	国民の祝日「海の日」を祝い、「海の日」記念式典を実施して、海事功労者への表彰を行うとともに、「海の日」の広報活動として、函館マリンフェスタを実施している。
目 的	(目 的) 国民が海の恩恵に感謝し、海洋国家日本の繁栄を願う「海の日」の祝日制定の趣旨を踏まえ、海事行事を遂行し、海事思想の普及・向上を図るとともに、地域の発展に寄与する。
・ 効 果	(効 果) 高い政策効果が期待できるとともに、港湾関連団体との連絡・協調が図られ、市の行政を推進する上で非常に有効である。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収 入	26	100			940	9	10	1,059
	27	100			930	58	10	1,098
	28	100			940	9	10	1,059
	29	100			930	5	10	1,045
	30	100			920	0	10	1,030
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	予備費		計
	26		144	857				1,001
	27		109	980				1,089
	28		62	992				1,054
	29		64	981				1,045
	30		71	959				1,030

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	海の日を祝う会補助金
----------------	------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	「海の日」は、長年に及ぶ海事関係団体をはじめとした各層の働きかけにより制定された国民の祝日であり、当会は、祝日制定の趣旨を踏まえ事業を行うことを目的としているため、公益性があり、広く市民に対し、海への関心を高めている。また、公益性が高いことから、市が事務局となっている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	「海の日」の記念式典において海事功労者を表彰しているほか、函館マリンフェスタの実施などを行っており、公益性、必要性が高い。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	事業の見直しを図るとともに、経費の節減に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	明確な公益性があり、また、市長が顧問として参画していることから、補助によることが最適であると考ええる。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	積算基準は定められていないが、事業執行上、必要最低限の額を補助している。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☒	収入は、主に会費と市からの補助金であるが、会員企業の口数減少に伴い減収となっている。
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名
(交付金名)

海の日を祝う会補助金

○補助効果の検証

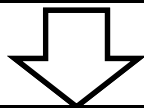
(効果測定方法, 具体的な数値等)

- ・「海の日」記念式典で行われる海事功労者表彰は、会員企業からの推薦により、会で定める基準に従い会長表彰選考委員会で決定しているが、特に表彰者数の定めはない。
- ・「海の日」の広報活動として、函館マリンフェスティバルを実施している。

(達成状況)

- ・「海の日」記念式典で行われる海事功労者表彰は、毎年数十名が表彰されており、平成30年度の表彰者は17名であった。
- ・函館マリンフェスティバル2018については、国や道、民間の団体など24団体が20の事業を実施しており、延べ6,780名の参加があった。

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)

- 十分効果をあげている ☒
- 一定の効果をあげている ☐
- 効果が疑問である ☐
- その他 ☐

(理由)

○今後の方向性

- ☐ 現行のまま補助を継続
- ☒ 見直したうえで補助を継続
- ☐ 廃止
- ☐ その他

(見直しの内容)

従前より事業の見直しを行っているが、事業内容や積算内訳については、再度、経費が適正であるかなどの観点から精査し、適正な補助額を算出する。

(見直しの時期)

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定

令和3年度

☐

終期到来により廃止

☒

終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)

令和3年度